

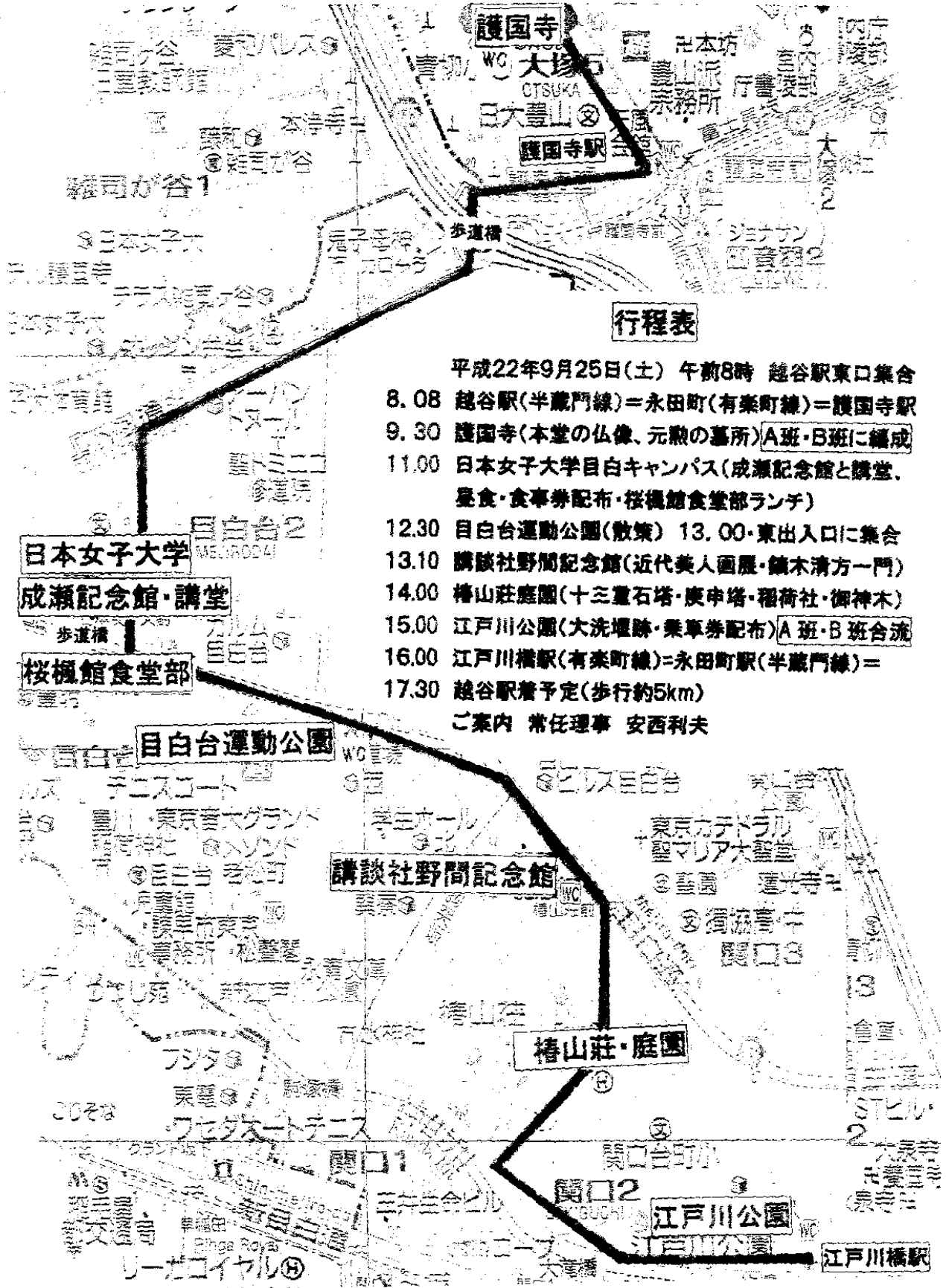
越谷市郷土研究会は設立45周年を迎えました

秋の護国寺から椿山莊庭園を訪ねる

平成22年9月25日(土)・第407回史跡めぐり

NPO 法人越谷市郷土研究会





行程表

- 平成22年9月25日(土) 午前8時 越谷駅東口集合
- 8.08 越谷駅(半蔵門線)=永田町(有楽町線)=護国寺駅
 - 9.30 護国寺(本堂の仏像、元勲の墓所)A班・B班に編成
 - 11.00 日本女子大学目白キャンパス(成瀬記念館と講堂、
昼食・食事券配布・桜楓館食堂部ランチ)
 - 12.30 目白台運動公園(散歩) 13.00・東出入口に集合
 - 13.10 講談社野間記念館(近代美人画展・鎮木清方一門)
 - 14.00 椿山荘庭園(十三重石塔・庚申塔・稻荷社・御神木)
 - 15.00 江戸川公園(大洗堀跡・乗車券配布)A班・B班合流
 - 16.00 江戸川橋駅(有楽町線)=永田町駅(半蔵門線)=
 - 17.30 越谷駅着予定(歩行約5km)
- ご案内 常任理事 安西利夫

日本女子大学
成瀬記念館・講堂
 歩道橋
桜楓館食堂部

目白台運動公園

講談社野間記念館

椿山荘・庭園

江戸川公園

江戸川橋駅

○護国寺(重要文化財の大寺院)

○ 観音堂(本堂)

創建は、天和元年(1681)2月。五代将軍徳川綱吉公が、その生母、桂昌院の発願により、上野国(群馬県)碓井八幡宮の別当、大聖護国寺の亮賢僧正を招き開山とし、幕府所属の高田菜園の地を賜い、堂宇を建立し、桂昌院念持仏の天然琥珀如意輪観世音菩薩像を本尊とし、号を神齡山悉地院護国寺と称し、寺領300石を賜ったことに始まる。(昭和25年国指定重要文化財)

現在の観音堂は元禄10年(1697)正月、観音堂新営の幕命があり、約半年でこの大造営を完成した。元禄時代の建築工芸の粋を結集した大建造物で、その雄大さは都内随一のものとして賞され、しかも震災・戦災と二度の大災害に襲われながら姿も変えず、江戸の面影を今に伝えている。

○ 月光殿(現在修復中)

もと大津三井寺の塔頭、日光院客殿を移築したものである。桃山時代の建立で、織田信長のとき大修理を行った。桃山期の書院風建築の代表的なもので、床の間の壁画は狩野永徳の筆と伝えられ、水墨で蘭亭曲水の図が画かれている。他の襖絵は狩野派の絵師によって花鳥図が画かれている。(国指定重要文化財)

○ 仁王門

八脚門、切妻造りで丹塗。他の堂宇と同じ元禄期に建立された可能性がある。正面両脇間に金剛力士像(左に阿形、右に吽形)、背面両脇間に仏法を守る増長天と広目天を安置する。

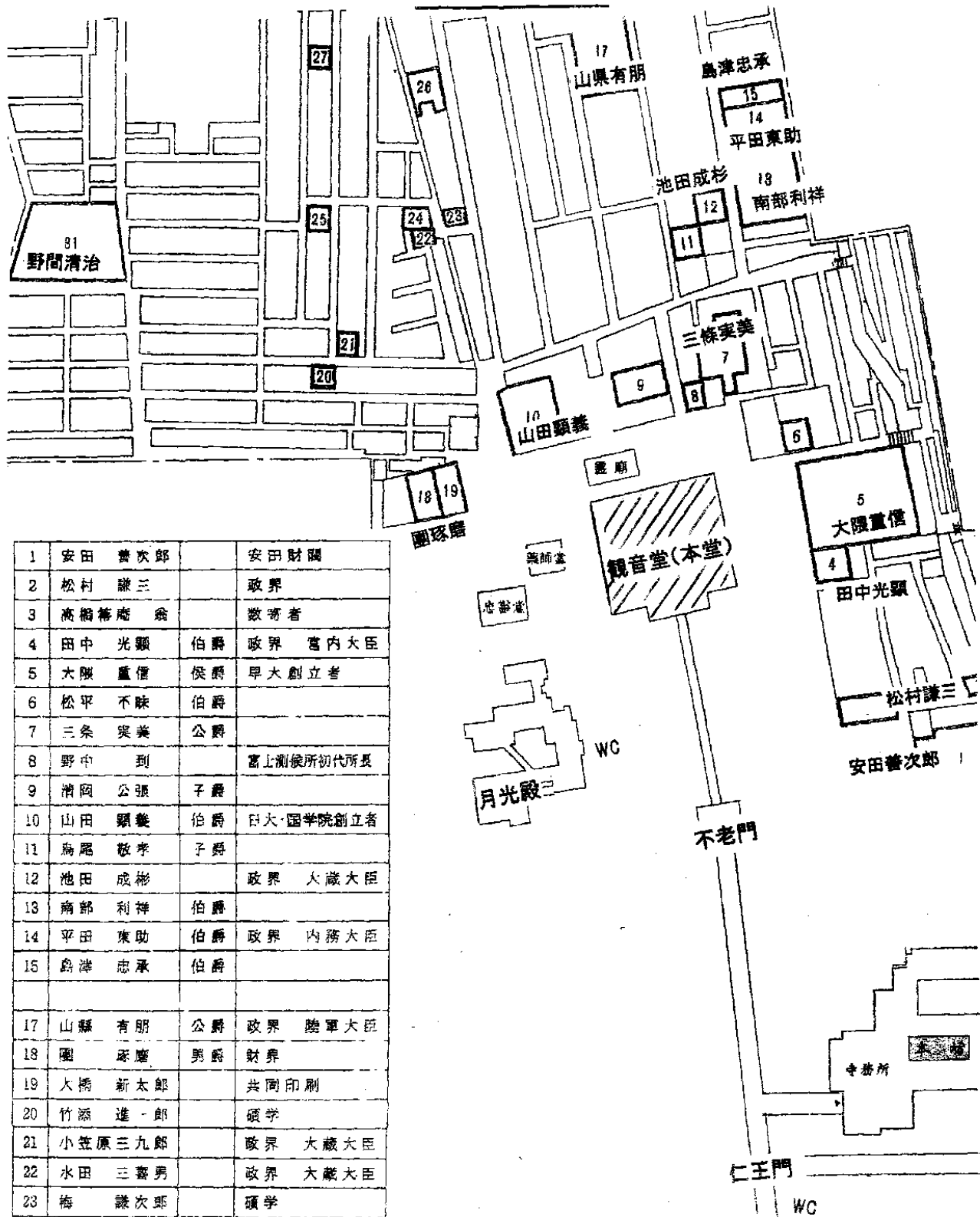
○ 不老門

昭和13年(1938)4月、京都・鞍馬寺の門の様式を基本に設計され、本堂と仁王門の間に建立された。この門には無病・長寿の念が込められ、「不老」の二字は徳川家達公の筆による。

○ 惣門

本坊の通ずる所にあり、形式は大名屋敷の表門の形式で、柱や冠木なども太く全体にどっしりした構えである。五代将軍徳川綱吉公の祈願寺でもあり、将軍と桂昌院が御成りのため、格式の高い門が造営された。

護国寺墓地略図



1	安田 善次郎		安田財閥
2	松村 謙三		政界
3	高橋篤庵 翁		教寄者
4	田中 光顯	伯爵	政界 宮内大臣
5	大隈 重信	侯爵	早大創立者
6	松平 不昧	伯爵	
7	三條 実美	公爵	
8	野中 到		富士測候所初代所長
9	清岡 公張	子爵	
10	山田 顯義	伯爵	日大・国学院創立者
11	島尾 敏孝	子爵	
12	池田 成彬		政界 大蔵大臣
13	南部 利祥	伯爵	
14	平田 東助	伯爵	政界 内務大臣
15	島津 忠承	伯爵	
17	山縣 有朋	公爵	政界 陸軍大臣
18	團 琢磨	男爵	財界
19	大橋 新太郎		共同印刷
20	竹添 進一郎		碩学
21	小笠原三九郎		政界 大蔵大臣
22	水田 三喜男		政界 大蔵大臣
23	梅 謙次郎		碩学

○日本女子大学

日本女子大学は明治34年(1901)、成瀬仁蔵(1858~1919)によって、この目白の丘に女子の専門学校として誕生しました。新制大学設置は1948年で、現在の教育施設は次のとおりです。

目白キャンパス

- ・ 使用学部 家政学部、文学部、理学部
- ・ 大学院研究科 家政学、文学、理学、人間生活学
- ・ 附属校 豊明幼稚園、豊明小学校

西生田キャンパス

- ・ 使用学部 人間社会学部、人間社会研究科
- ・ 附属校 日本女子大学附属中学校・高等学校

○成瀬記念館

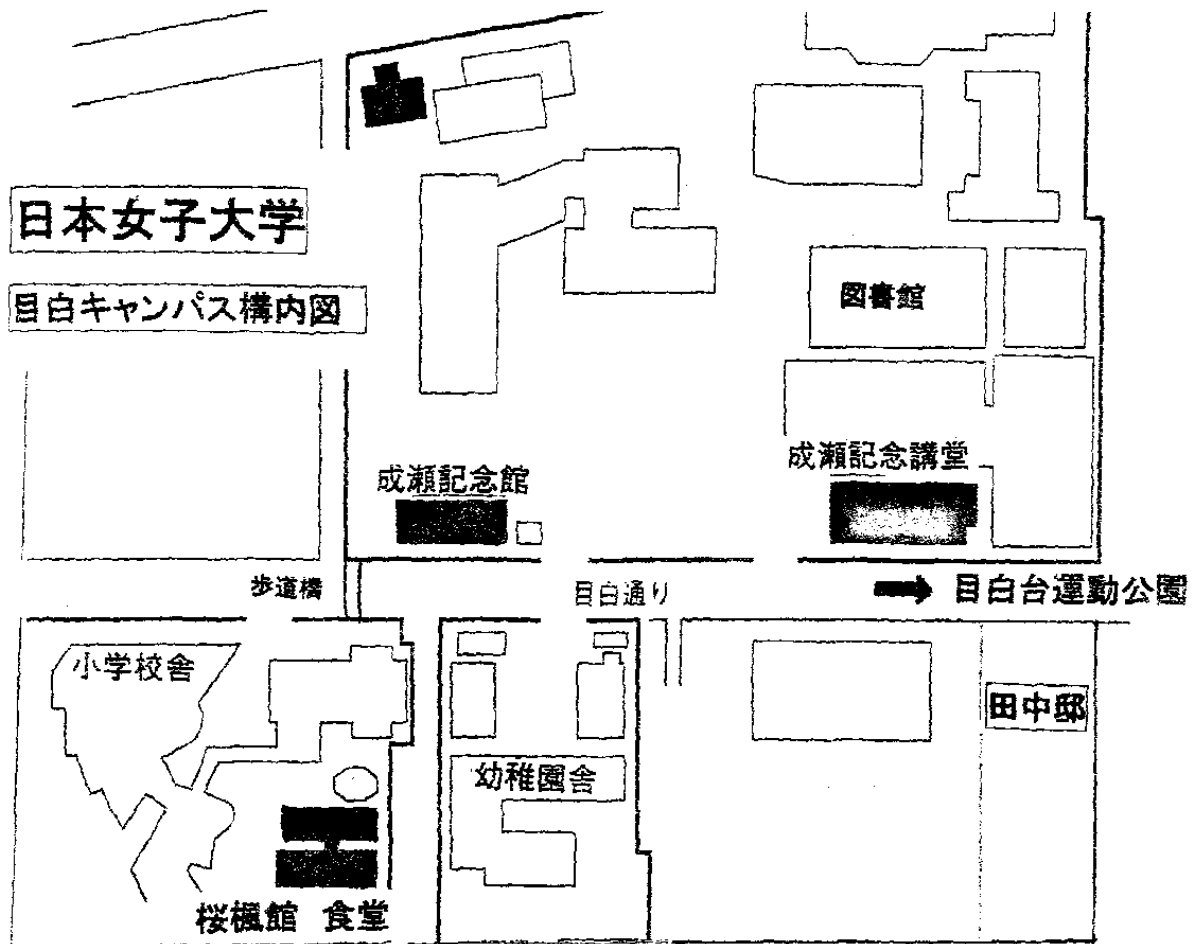
昭和56年(1981)に創立80周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として、創立者の偉業を偲び、成瀬記念館の建設を企画しました。その意図するところは、創設者の教学の理念と本学の歴史を明らかにし、もって建学の精神の高揚と継承を図るとともに、ひいては女子教育研究の進展に寄与しようとするものです。

○成瀬記念講堂

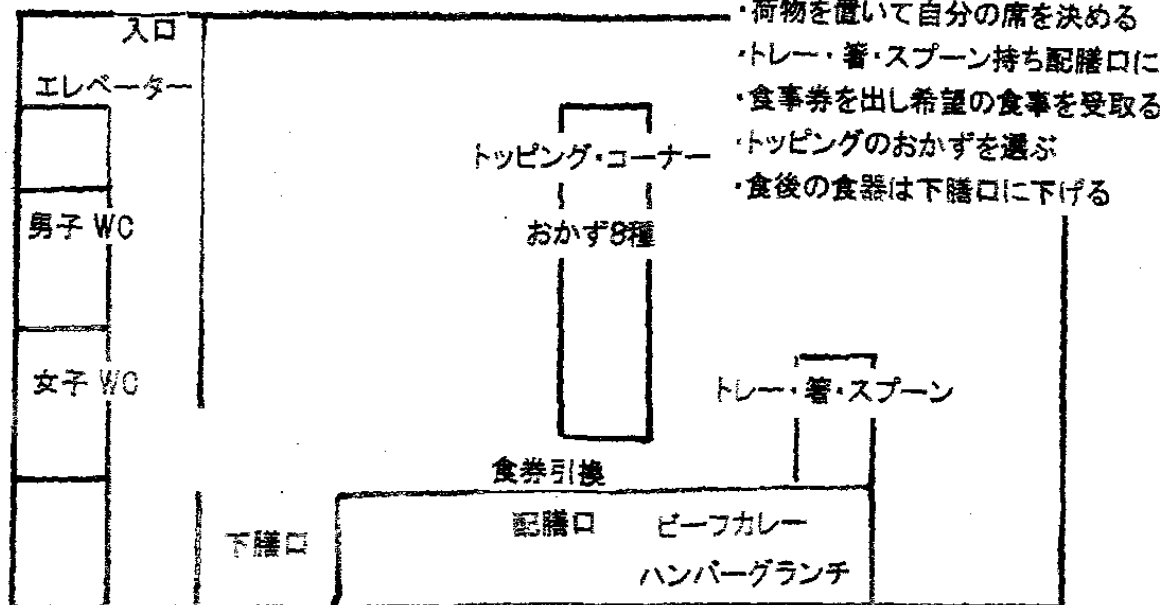
1906年、日本人の手による本格的な西洋建築として日本女子大学創設者の成瀬仁蔵を記念し建設。関東大震災の翌年、内部の造作を残して再建された。明治期の木造建築として貴重なものであり、堂の中央にある「成瀬仁蔵胸像」は高村光太郎作である。



▲一生涯かけた女子教育の基本理念を凝縮した書。本学の象徴となっています。

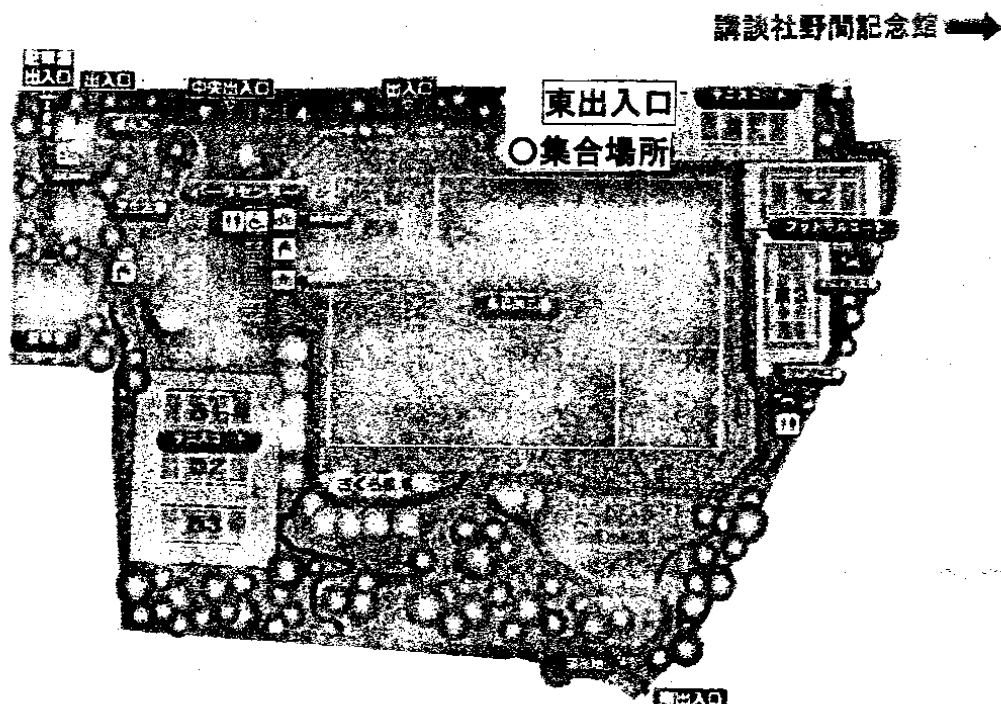


桜楓館食堂部(教職員用) 利用案内



○目白台運動公園

平成21年4月、元国家公務員共済組合運動場に田中角栄元首相の私邸(目白御殿)の一部(1800坪)を合わせ、広さ9000坪の広大な運動公園がオープンした。これは災害時の防災拠点をも兼ねたもので都内最大の区立公園です。



○ 主な施設

- ・ 管理棟(パークセンター)
- ・ 多目的広場(野球場2面)
- ・ テニスコート(4面)
- ・ フットサルコート(2面)
- ・ わんわん広場
- ・ 噴水池
- ・ 芝生広場(600坪)
- ・ 斜面地広場(300坪)
- ・ さくら並木
- ・ 駐車場、外周園路

○ 散策・休憩(雨天の時はパークセンターを利用)

- 集合 東出入口 A班:13時 B班:13時20分

○ 講談社野間記念館

講談社の初代社長・野間清治のコレクションを中心に、講談社創業90周年事業の一環として設立された美術館です。収蔵品は、鏗木清方・竹内栖鳳・川合玉堂など官展系の作家、横山大観・速水御舟・小林古徑など院展作家たちの、名だたる作品が豊富にそろっている。その他、西洋画、彫刻、陶磁、刀剣、刀装具など多彩である。今回の秋季展は、鏗木清方一門による「近代美人画展」です。

○ 鏗木清方

昭和29年(1954)、近代日本画家として7人目の文化勲章を受章した美人画の名手である。系譜の上では浮世絵師の流れをくむ清方は、江戸時代に狩野派や土佐派などの画家にくらべて浮世絵師たちが一段低く見られていたことを踏まえながら、「浮世絵末流」を自認していたようです。

「絵画や文芸が人の作った芸術なら、自然や人間は神の作った芸術です。人間の中でも美しい女性は殊に、全智全能の神の心を籠めて造られた美の結晶といふべきものです」こう語る清方は日本画の近代化の中で、女性美を自らの美意識によって、恒久不変の美として再現するという姿勢で、研鑽を重ねていきました。その結果、近代日本画壇において、美人画の地位は、確実に向上していきました。



鏗木清方《夏の旅》

○ 椿山莊庭園

椿山莊庭園は、目白台地に刻まれた独特の谷戸地形で、一帯には椿が自生し、南北朝時代から「つばきやま」と呼ばれていた。

江戸時代は、黒田豊前守の下屋敷があり、「江戸名所花暦」でも知られる遊山の地だった。江戸時代の代表的な浮世絵師・安藤広重の「名所江戸百景」にも「関口上水端 芭蕉庵 椿山」として、美しく描かれている。明治11年(1878)山県有朋が邸宅地として入手。地形を活かした築庭に力を注ぎ「椿山莊」と名付つけた。ここには、明治天皇をはじめ政官財界の重鎮も訪れている。大正年間に藤田家の所有となり、大戦中は戦災に遇いながらも三重塔など歴史を偲ばせる文化財の数々を随所に配して、名園の風情を高めた。

○ 山県有朋

山県有朋公爵は政治家、軍人で、明治の元勳として著名。明治11年(1878)に有朋が私財を投じて購入した「椿山莊庭園」は、大正7年(1918)に関西の財界人・藤田平太郎男爵が所有した。しかし第二次世界大戦で有朋の屋敷や樹木の大半は焼失した。戦火で荒れた庭園を復興させたのが藤田観光の小川栄一であった。こうして昭和27年(1952)に「椿山莊」として開業することとなった。

○ 三重塔

この塔は平安時代の歌人として名高い参議・小野篁(たかむら)ゆかりの篁山竹林寺(広島県)にあったものです。大正14年に藤田平太郎男爵が譲り受け、椿山莊に移築したものです。室町時代末期の作と推定されています。

○ 般若寺式石灯籠

鎌倉時代後期の逸品。江戸時代の茶人や造園家の間で「名物の灯籠」の一つとして人気の高かった般若寺式灯籠の原作といわれる。

○ 十三重石塔

戦国時代の武将で茶人でもあった織田有楽斎(信長の弟)ゆかりの層塔と伝えられています。

○ 庚申塔

道教の庚申信仰に由来して造られた石塔で青面金剛像が彫刻されています。江戸時代の初期から現在の場所にあったとつたえられています。

○ 羅漢石

江戸時代中期の画家・伊藤若冲の下絵による五百羅漢の内の20体で、京都伏見の石峰寺にあったものとされています。

○ 椿山荘の碑

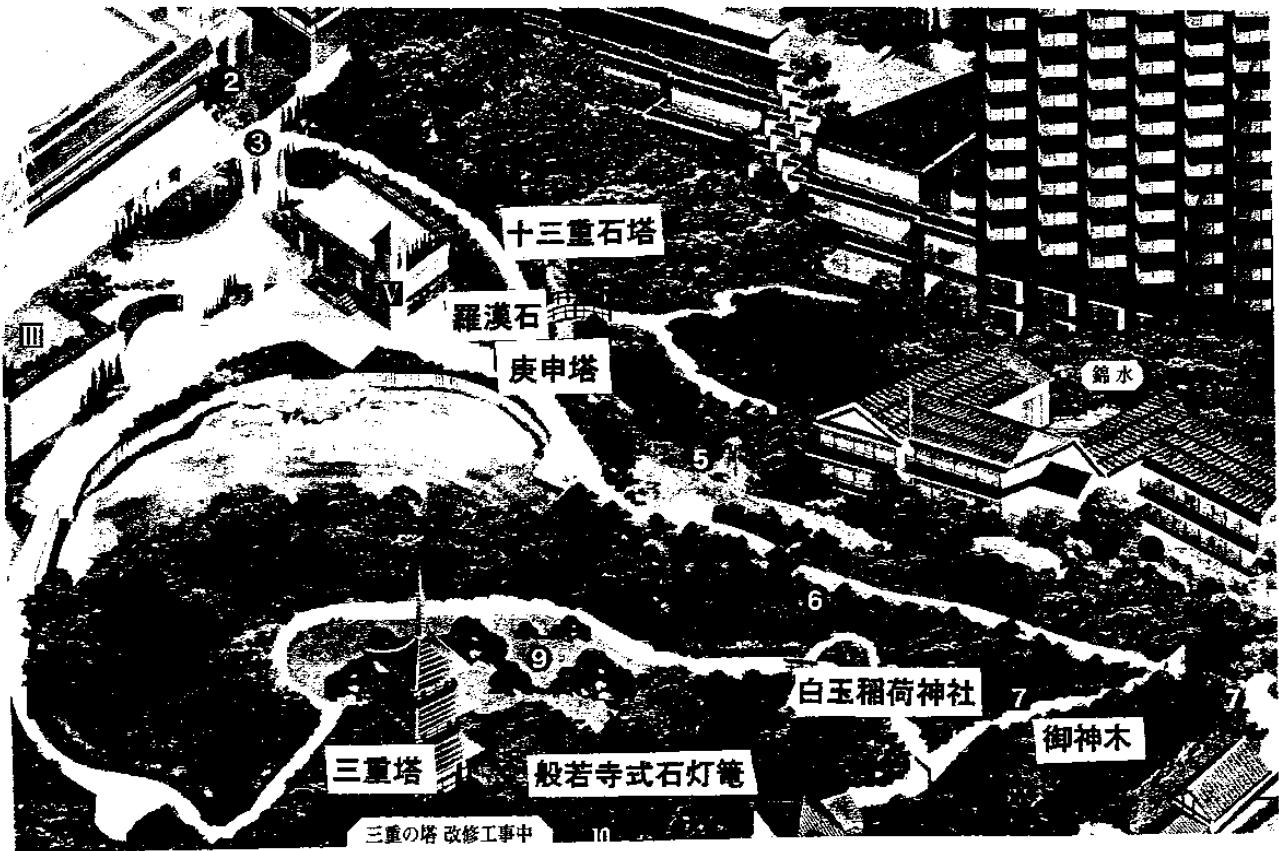
明治10年西南の役に凱旋した山県有朋公爵が、翌11年この地に居を構え「椿山荘」と命名した時の記念碑です。

○ 御神木

椿山荘における最古の樹木として保存されている御神木です。
樹種:椎(シイ) 樹齢:約500年 樹高:約20m 根本周囲:4.5m

○ 白玉稻荷神社

京都下鴨神社にあった社殿を譲り受け、大正14年伏見稻荷から白玉稻荷を勧請して椿山荘の守護神とした。



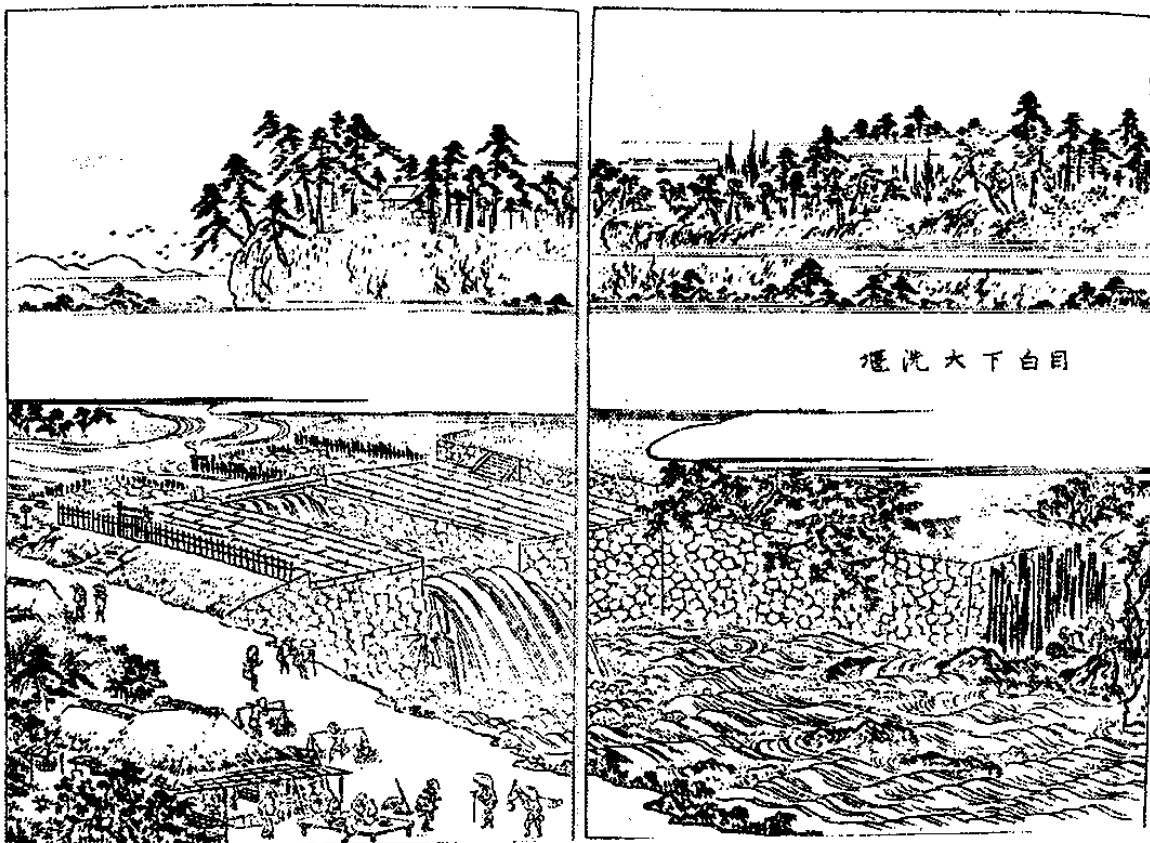
冠木門・集合・15.00

○江戸川公園

関口台地の南斜面の神田川沿いに広がる東西に細長い公園です。昭和59年(1984)に神田川の拡張工事に伴い改修され、園路を散策すると様々な景色が展開します。まずソメイヨシノの並木がつづき、重量感のある石の広場、時計塔のあずまや、藤棚のテラス、石組みの池があり、神田上水取り入れ口に使用された大洗堰を復元しています。

○大洗堰

徳川家康の江戸入り(天正18年—1590)の直後、井の頭池、善福寺池、妙正寺池からの流水を落合で合わせ、関口で取水して造った水路が神田上水です。大洗堰で二分され、一部を江戸川(現神田川)に落とし、他を上水として大名屋敷、町屋に給水したとのことです。昭和8年(1933)に水質・水量の悪化で取水口は塞がれました。



江戸名所図会 目白下大洗堰

参考資料

東京都の歴史散歩・中 都歴史教育研究会
東京庭園ガイド 東京都名園鑑賞会
江戸・東京歴史探訪 メイツ出版
江戸切絵図 散歩 新潮社
大本山 護国寺 案内
日本女子大学 成瀬記念館 案内
講談社野間記念館 案内
近代美人画展 パンフレット
椿山荘庭園のご案内
東京都区分地図 文京区 昭文社
フリー百科事典「ウィキペディア」